

第6号様式（第14条関係）

26年4月9日

新宿区長 殿

法人名 特定非営利活動法人いきいき里の会  
所在地 新宿区愛住町19-13 泰美ビル3F  
(フリガナ) オガワラ エイジ  
代表者氏名 理事長 小河原 永次 ㊟

## 協働推進基金助成金交付申請書

新宿区協働推進基金条例施行規則第14条の規定により、下記のとおり助成金の交付を申請します。

記

助成金申請額 金 500,000 円

1 助成対象事業

事業名	独居高齢者孤独死予防事業	
事業種別	○既存事業	新規事業
申請する助成の種類	○NPO活動資金助成	新事業立上げ助成
過去に本助成を受けた実績	助成年度（平成 22 年度）事業名（独居高齢者孤独死予防事業） 助成年度（平成 24 年度）事業名（独居高齢者孤独死予防事業） 助成年度（ ）事業名（ ）	
この事業に対し他の助成の有無 (申請中のものを含む。)	有 ○無	有の場合は助成団体及び助成額 団体名： 助成額： 円
事業実施地域及び会場	事業実施地域：四谷全域 イベント会場：四谷地域センター（多目的ホール）	
スケジュール (実施期間等)	高齢者世帯、特に独居高齢者の方々の「閉じこもりや孤立化」防止策として、心の癒し（お笑いの会、健康講座等）を実施 年 5 回実施予定（6・9・11・1・2 月） 参加予定：毎回 70 人 有料参加者 50 人＋当会会員 20 人	
区民ニーズの把握状況 (それは、どのように把握したかを含む。)	<p>当会は平成 20 年に「独居高齢者孤独死予防事業」を始めました。組織の定年退職者が、「何か社会貢献をしよう」と NPO を立ち上げました。新宿区が行う独居高齢者への「ぬくもりだより」の配布事業への協力と同時に、独居高齢者に「心の癒し」「外へ出ていただく機会」の提供のためのイベントを開いております。5 年を経過しました。</p> <p>イベント開催は過去 5 年間で 26 回を数え、リピーターは 110 名に達しておりますし、初めての方も多く見えています。我々の活動のアピールを理解いただき、継続的に参加いただくご高齢者が増えることこそ区民のニーズと考えています。</p> <p>イベント開催の都度アンケートをいただき、希望情報の収集に努めております。アンケートの希望としては、落語、漫談、講演会、ジャズコンサート、お琴演奏、などこれまでに取り上げたものが多く寄せられました。また高い評価をいただいたものは予算の範囲内で定期的に今後の予定に入れてまいります。</p> <p>なお、よりよいイベントにするために地域自治会の役員にも会員になっていただき、区民ニーズの把握に努めています。</p>	
事業の対象者	新宿区在住高齢者を対象としておりますが、これまで通り、イベントに参加いただいたリピーター110名の方への案内、我々のもう一つの活動である四谷地区八町内の「ぬくもりだより」の配布ご高齢者約 100 名にも案内を差し上げています。現在、ちらし 2,100 枚を作成、関係団体への配布・掲示依頼、新聞折り込み、ポスティング、町内会掲示板への掲示等広報に努めています。	

<p style="text-align: center;">活動内容</p> <p>※必要に応じて、図表、地図、イラスト、写真等を添付し、又は印刷物等の資料を提出していただいても結構です。</p>	<p>過去 26 回のイベントでは、単に「お笑いの場」の提供だけでなく、歌詞カードを用意して、みんなで合唱をしたり、リトミック軽体操等を組み込んできました。</p> <p>今年度は、6 月には、新宿区にお住まいの高齢者による「歌謡ショー」、9 月には高齢者向け、メタボ対策、今注目されている「ロコモティブシンドローム」(運動器症候群) 対策の健康講座を計画しています。(11 月及び 2 月は現在企画検討中)</p> <p>また、アンケートで高い評価をいただいている、お琴の演奏は毎年正月の恒例イベントになりました。(27 年 1 月予定)</p> <p>なお、私どもが協力している「ぬくもりだより」配布高齢者の方にもこのイベントに参加してもらおうと情報誌への折り込み配布をしています。毎回 7~8 名が参加されています。</p>
<p>地域の人たちの事業へのかかわり方</p> <p>(ボランティアとして参加する等、どのように地域の人がこの事業に参画することができるかを記入してください。)</p>	<p>地域の方々もわれわれ NPO の仲間に入っただき、ぬくもりだよりの配布協力者であり、また、イベントの手伝い、参加者の募集も手伝っていただいています。また新宿区や自治会の協力を得て、ボランティアでイベントに出演いただく等、地域の方々には相当な参画をいただいております。感謝しております。今後も引き続きこの関係を保ち、さらにコミュニケーションを深めていきたいと思っています。</p>
<p>実行体制</p> <p>(必要とされる人員とその確保のめど、必要な設備等)</p>	<p>現在、私たちの仲間は正会員 27 名、賛助会員 23 名で構成されています。その中でイベントの実行体制は、正会員が 14 名、企業ボランティア、会員家族等 6 名計 20 名が常時参加しています。</p> <p>イベント準備としては、正会員 14 名がそれぞれ手分けをして実施しています。出演者との折衝、企画担当、ちらし・プログラム作成、印刷発注、リピーター等への案内発送、関係団体への掲示・配布の依頼、新聞折り込み依頼、ぬくもりだより配布折り込み、ポスティング等です。</p>
<p>期待される成果</p>	<p>区民や地域にもたらす具体的効果</p> <p>5 年間でイベント回数が 26 回となりました。</p> <p>我々の活動の目標である「外へ出ていただく機会」の提供に役立っていることが具体的効果であります。また、冒頭の挨拶で、われわれの活動のあらましを紹介させていただいております。我々の活動を理解いただく機会であり、高齢者の社会参加の必要性を引き続きアピールしていきたいと思っております。毎回アンケートを書いていただいておりますが、参加回数もかなりの方が複数回になっており、次回を期待されるアンケートもありました。皆さんから喜んで頂いている具体的効果と確信しています。さらに我々の活動に参加いただけるよう努力したいと思います。</p>

	<p>申請事業を実施することによる貴団体の活動への効果</p>	<p>過去2回（H22年、H24年）助成を受けておりますが、助成を受けたことによるわれわれの活動の活性化、効果は計り知れません。「区民の代理の方々の審査」を受けたイベントは重みが違います。申請事業の実施による、我々団体と新宿区とのつながりを理解いただき、我々の活動の広報にもつながっています。</p> <p>助成なしで、欲張ったイベントの企画は今後の検討課題ではありますが、継続に向けた努力をしております。</p>
	<p>貴団体の経営基盤強化に向けた取り組みと今後の展望</p>	<p>我々の活動を広く広報し、理解いただき、団体の支援、会員・寄付者の拡大、スポンサーの確保を図って参ります。</p> <p>我々のもう一つの活動であります、ぬくもりだよりの配布活動と併せ、地元会員と積極的な協働をはかり、地域から高く評価される「独居高齢者孤独死予防活動」の体制強化を目指します。そのためには、経営の基盤強化に取り組まなければなりません。高齢者の方に誤解をいだかせない事業の展開、各種団体との接触等を模索しています。新宿区はもとより、社会福祉協議会、新宿 NPO 協働推進センター、新宿 NPO ネットワーク協議会、高齢者総合相談センター等が主催する打ち合わせ・研修会には積極的に参加しております。さらに深く情報交換を行って参ります。</p>

## 2 助成対象事業費内訳（積算根拠）

※協働推進基金助成金は、助成申請額を入れて積算して下さい。

※入場料又は会費を徴収して行うイベント、公演等は、必ず単価を入れてください。

(G)

	経費	積算根拠（内訳）	金額
収入	団体負担金		341,230 円
	参加費・資料代等	参加費 50 人 × @500 × 5	125,000 円
	その他の収入		円
	協働推進基金助成金	助成希望額	500,000 円
	計		966,230 円

支出 (助成の対象になる事業費の内訳)	費目	予算額	内 訳
	会議費	27,000 円	会場借り上げ@4,800×5回=24,000 打ち合わせ資料コピー代@5×8枚×5人×5回=1,000 会議資料コピー代@5×8枚×10人×5回=2,000
	宣伝費	103,250 円	ちらし印刷代片面カラー2,100枚×@5×5回=52,500 新聞折り込み(2社)500枚×2社×@3.7×5回=18,500 イベントプログラム印刷100枚×@57×5回=28,500 イベント案内コピー代@3×250枚×5回=3,750
	リース費	円	
	消耗品費	7,500 円	封筒(案内用)150枚×@10×5回=7,500
	謝礼	329,000 円	健康講座謝礼:@10,000×3人=30,000 出演者謝礼:@10,000×6人=60,000 同:@8,000×8人=64,000 同:@5,000×8人=40,000 同:@3,000×20人=60,000 ボランティア謝礼:@3,000×5人×5回=75,000
	人件費	179,000 円	スタッフ会議出席手当 @1,000×2h×7人×5回=70,000 スタッフイベント開催日手当 @1,000×4h×7人×5回=140,000 同 案内発送作業手当 @1,000×2h×4人×5回=40,000 ※71,000円は助成対象外事業費へ
	材料費	1,980 円	アンケート用紙コピー代@3×60枚×5回=900 イベント用歌詞コピー代@3×120枚×3回=1,080
	交通費	127,500 円	スタッフ会議出席交通費 往復@1,000×10人×5回=50,000 イベント開催日出席交通費 往復@1,000×10人×5回=50,000 イベント開催用備品運送車両代 往復@1,500×5回=7,500 同 案内発送作業交通費 往復@1,000×4人×5回=20,000
	その他諸経費	120,000 円	ちらし、開催案内等郵送料@13,000×5回=65,000 (リピーター、会員、関係団体、配布協力者へ郵送) 出演者の特殊演奏機材の運搬・搬入補助費用50,000 振込手数料等5,000
助成対象事業費(小計)	895,230 円		
助成対象外事業費	71,000 円	人件費負担分	
事業総額		966,230 円	

### 3 その他

助成金申請額を減額して助成金の交付決定をした場合、助成対象事業の遂行は可能ですか。

( ○はい ・ いいえ )

#### 助成対象経費

下記項目以外の経費（飲食費等）は、対象といたしません。

項目	経費の種類
①会議費	打合せ、会議資料コピー代、会場使用料等
②宣伝費	チラシ、ポスター等作成費
③リース費	事業に直接必要な機器の賃借料
④消耗品費	事務用品の購入費
⑤謝礼	講師、協力団体等への謝礼（1時間当たり1万円を限度とし、1日当たり3万円を限度とする。）
⑥人件費	事業実施に直接関る事業主体の人件費として時間単価1,000円、1日あたり1人4,000円を上限として、かつ助成対象事業費の20%以内
⑦材料費	事業に直接必要な材料の購入費
⑧交通費	公共交通機関の交通費、講師との事前打合せのための交通費等（タクシー代は除く。）
⑨その他諸経費	損害保険料、郵送料等（チャリティ募金、寄附金等は除く。）